

第 8 回 理 事 会 議 事 録

1. 開催日時 平成 30 年 12 月 21 日 (金) 16 時 00 分～17 時 40 分
1. 開催場所 東京国際フォーラム G502
1. 現在理事数 25 名
- 出席理事数 19 名
- 理事 長 寺本 民生
- 副理事 長 今村 聡 兼松 隆之
- 理 事 浅井 文和 池田 徳彦 市川 智彦 遠藤 久夫 大川 淳
- 神野 正博 里見 進 寺本 明 南学 正臣 羽鳥 裕
- 花井 十伍 邊見 公雄 本田 浩 森 隆夫 森井 英一
- 渡辺 毅
1. 現在監事数 3 名
- 出席監事数 1 名
- 松原 謙二
1. 陪席者数 5 名
- 堀岡 伸彦 (厚生労働省)
- 植田 勝明 (兵庫県庁)
- 天瀬 文彦 新井 朋博 (日本医師会)
- 前田 雅晴 (全国自治体病院協議会)
1. 事務局 事務局長代行 栄田 浩二 他
- 欠席理事数 6 名
- 理 事 有賀 徹 井戸 敏三 北村 聖 木村 壯介 久住 一郎
- 向井 千秋
- 欠席監事数 2 名
- 監 事 相澤 孝夫 跡見 裕

議事次第

- I. 第 2 回、第 3 回理事会 (8 月 3 日、8 月 24 日開催) 議事録の確認

II. 協議事項

1. 総務・規約委員会 協議事項
- (1) 機構の理念及び行動目標
- (2) 委員会の構成、目的、目標について
- (3) 職員就業規則案について
2. サブスペシャルティ領域検討委員会 協議事項議事項
- (1) 専門医制度認定のための基本的な考え方について
- (2) レビューシート等について
3. データベース検討委員会 協議事項
- (1) データベース補助事業におけるデータについて
4. 専門医認定・更新委員会 協議事項
- (1) 専門医更新基準変更について (麻酔科)
- (2) 共通講習申請の手引き及び「専門医の更新」に関する補足説明の改訂について
5. 理事の辞任について
6. 事務局長の承認について
7. その他

III. 報告事項

1. 医師専門研修部会報告
- (1) 一次登録状況
- (2) 機構認定専門医広告について
2. 各種委員会報告
- (1) 検証検討委員会
- (2) シーリング (定員問題) 検討委員会
- (3) 専門医認定・更新委員会
- (4) 財務委員会
- (5) 広報委員会
- (6) 総合診療医検討委員会
3. 委員会委員の変更
4. その他
- (1) 講演報告
- (2) 次回 (12 月 25 日) 定例記者会見について

IV. その他



16時00分、定刻に至り、理事長より挨拶の後、出席理事数の確認があり本理事会の成立を宣言し議事を開始した。

1. 第2回、第3回理事会（8月3日、8月24日開催）議事録の確認

8月3日（金）、8月24日（金）に開催された第2回及び第3回理事会の議事録が提出された。

II. 協議事項

1. 総務・規約委員会 協議事項

(1) 機構の理念及び行動目標

兼松副理事長より、当機構の理念及び行動目標の案が諮られ、整備指針にある「理念」は標準的医療を掲げているのに対し、この「理念」については、国民目線を主としたものであること、また、行動目標については、国民、専門医、標準的医療各々の目線で記載していることの説明があり、承認された。ホームページに掲載予定である。

(2) 委員会の構成、目的、目標について

兼松副理事長より、12月7日に開催された第2回総務・規約委員会で承認された各種委員会の構成、目的、目標について諮られ、前回理事会提出時の目的等の記載に、委員会開催の成立要件、議決要件、副委員長選出の有無、他の委員会との内容重複や追加事項等を確認のうえ加筆したうえで、全体の文言の整合性を統一したことが説明され、承認された。こちらは、広報委員会と協議のうえで、ホームページに掲載予定であることが報告された。

(3) 職員就業規則案について

兼松副理事長より、職員就業規則改定案が諮られ、本案は顧問弁護士に確認のうえ作成したこと、懲戒処分に関する規定を従前より詳細に規定したこと、給与規定類については財務委員会と別途協議のうえ策定予定であること、休憩時間について職員より時間延長の意見が出されていることが説明された。理事より疑義のあった懲戒処分時の「改悛の情」の判断者については、理事長より当該箇所の規定文を再度練ることが提案された。その他の内容については承認され、最終的には、事務職員の意見を聴取したうえで、決定することとした。

2. サブスペシャルティ領域検討委員会 協議事項

(1) 専門医制度認定のための基本的な考え方について

渡辺理事より、委員会において、サブスペシャルティ領域専門医制度認定のための基本的な考え方を作成したこと、基本領域学会及びサブスペシャルティ領域学会に調査（レビューシート）を依頼予定であること、2019年9月を目処に機構認定のサブスペシャルティ領域の専攻募集等について公表すべく作業を進める予定であることが報告された。また、そのプロセスを記載したサブスペシャルティ領域認定に関するスケジュール案を策定し、12月11日に行われた第3回医師専門研修部会において当該スケジュール案を示したことが報告され、スケジュール案は承認された。

理事から審査について、サブスペシャルティ専門医の乱立を防ぐために、今年は既に機構認定されている23サブスペシャルティ領域の審査に留めるなど、抑制的に行ってほしいとの意見が出さ

れた。

また、機構の考えるサブスペシャルティ専門医像の基準について質問があり、一般化された専門医とは別に、少数ではあるが希少疾患等を扱う専門医の重要性も述べられ、レビューシート上の数字のみ判断できるものでなく、今後様々な要素も含め検討する意向であることが説明された。

(2) レビューシート等について

渡辺理事より、サブスペシャルティ領域認定の審査のため、基本領域学会及びサブスペシャルティ領域学会に送付するサブスペシャルティ領域専門医制度認定のための基本的な考え方や、レビューシート等が諮られ、承認された。これらは、年内に基本領域学会及びサブスペシャルティ領域学会に送付予定であることが報告された。

3. データベース検討委員会 協議事項

(1) データベース補助事業におけるデータについて

理事長より、厚生労働省より補助を受けている医療施設運営費等補助金「データベース作成等事業」に関し、同補助金実施要綱に規定されている医政局長（厚生労働省）へのデータベース情報提供について了承が求められ、承認された。

理事より、過去に厚生労働省に提供した情報が都道府県条例によって開示されてしまった事例が報告され、強い懸念が示されたことから、厚生労働省に対しては、データベースに含まれる専攻医の個人情報の取扱いに厳重に注意いただくよう、求めることとした。

4. 専門医認定・更新委員会 協議事項

(1) 専門医更新基準変更について（麻酔科）

市川理事より、麻酔科領域より申請のあった専門医更新基準の変更について、委員会で審査を行い承認したことが報告され、承認された。

(2) 共通講習申請の手引き及び「専門医の更新」に関する補足説明の改訂について

市川理事より、共通講習申請の手引き及び「専門医の更新」に関する補足説明の改訂について、資料を基に説明がなされ、承認された。

理事長より、将来的には当機構が主体となり e-learning 等を実施したいとの意向が示された。

5. 理事の辞任について

遠藤理事より理事辞任の申し出があり、了承された。後任の理事については、選任の有無を含め今後理事会で検討することとし、選任する場合には別途社員総会に諮る予定とした。

6. 事務局長の承認について

理事長より、選考を経て決定した事務局長候補者について諮られ、承認された。

III. 報告事項

1. 医師専門研修部会報告

(1) 一次登録状況

理事長より、12月11日に行われた第3回医道審議会医師分科会医師専門研修部会において、平成31年度に専門研修開始予定の専攻医の一次登録状況を報告し、全体では8,217名の登録があったこと、専攻医登録スケジュールを示したことが報告された。

(2) 機構認定専門医広告について

理事長より、機構認定基本領域専門医の広告について、前述の第3回医道審議会医師分科会医師専門研修部会で議題として挙げられ、厳しい意見もあったが、議論を開始することとなったことが報告された。

なお、厚生労働省からは、専門医の広告に関する議論は、医療情報の提供内容等のあり方に関する検討会で行われるが、実質的な議論及び結論は医師専門研修部会に委ねられることが説明された。

2. 各種委員会報告

(1) 検証検討委員会

森理事より、9月22日に開催された検証検討委員会について報告がなされた。機構が有している問題点について協議し、委員会における議決要件の明確化等をはじめ現時点において解決した案件と、基本領域学会との業務契約等の未だ解決に至っていない案件があるため、今後、進捗状況及び新たな問題点の有無を確認したいとの意向が示された。

(2) シーリング（定員問題）検討委員会

理事長より、12月7日にシーリング（定員問題）検討委員会を開催し、平成30年度に専門研修開始予定の専攻医募集に関するシーリングを検討したこと、12月9日にシーリングに関する基本領域会議を開催し、各基本領域学会に当該シーリングについて説明したところ、シーリング対象となった領域からは厳しい意見が出されたものの、概ね了承いただいたことが報告された。

(3) 専門医認定・更新委員会

市川理事より、共通講習のコード表の修正および、単位付与となるe-learningの認定必要条件の一部文言の追加が報告された。

(4) 財務委員会

今村副理事長より、12月12日に監事、理事長及び事務局同席のうえで平成30年度中間会計監査を実施し、平成30年度上半期決算報告書案をもとに上半期の財務状況について説明を行い、今年度の収支報告及び年度末までの収支想定を示し、この中間監査について監事の了承が得られたことが報告された。

監事からは、事務局体制強化への費用負担を相応にすべきであるとの指摘がなされたこと、運転資金及び財政基盤への懸念から基金設置の提案がなされたこと、事務所賃借料等の負担について確認がなされたこと、サブスペシャリティ領域について拙速な議論は避けるべきであるとの指摘がなされたことが報告された。

なお、基金設置については検討を行うが、実施にあたっては定款変更の必要があるため、最終的

には理事会及び社員総会の判断を仰ぐとのことであった。

(5) 広報委員会

浅井理事より、12月13日に理事長、両副理事長を講師とした第1回記者懇談会を開催し、定例記者会見と比較して幅広い報道関係者の参加があったことが報告された。また、参加者アンケートの結果では満足度が高かったことが説明され、今後の継続開催も検討していることが報告された。

(6) 総合診療医検討委員会

羽鳥理事より、12月21日14時より開催された第4回総合診療医検討委員会において、平成31年1月20日に東京でプログラム統括責任者講習会を、1月27日に仙台、2月24日に大阪、3月10日に福岡で特任指導医講習会の開催を決定したこと、講習会の終了証及び研修手帳の発行準備を進めていること、総合診療版 J-OSLER の使用開始予定であること、総合診療医ワーキンググループの活動を開始したこと、WEB会議システム導入を検討していることが報告された。

3. 委員会委員の変更

救急科領域の基本領域専門医委員会及び基本領域研修委員会の委員が、木村昭夫氏に変更されたことが報告された。

4. その他

(1) 講演報告

理事長より、講演報告がなされた。

今村副理事長より、理事が個々の立場で機構に関する講演等を行った際においても、情報共有を兼ねて講演対象者・場所等を報告することの提案がなされ、了承された。

(2) 次回（12月25日）定例記者会見について

次回定例記者会見の報告事項が確認された。

本理事会での決定事項

- ・当機構の理念及び行動目標を決定した。
- ・各種委員会の構成、目的、目標を決定した。
- ・職員就業規則改定を承認した。
- ・サブスペシャリティ領域認定に関するスケジュール及び基本的な考え方、レビューシートを承認した。
- ・データベース補助事業に関し、厚生労働省へのデータベース提供を了承した。
- ・麻酔科領域より申請のあった専門医更新基準の変更を承認した。
- ・共通講習申請の手引き及び「専門医の更新」に関する補足説明の改訂を承認した。
- ・遠藤理事の辞任を了承した。
- ・事務局長候補者について承認した。

今後の会議予定

・第9回理事会

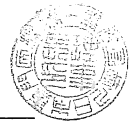
平成31年1月18日(金) 16時~18時

以上をもって、本日予定された議事を終了し、この議事内容を明確にするため議事録署名人として
監事が指名され、17時40分に散会した。

平成30年12月21日

理事長

寺本 民生



寺本 民生

副理事長

今村 聡



今村 聡

副理事長

兼松 隆之



兼松 隆之

監事

松原 謙二



松原 謙二